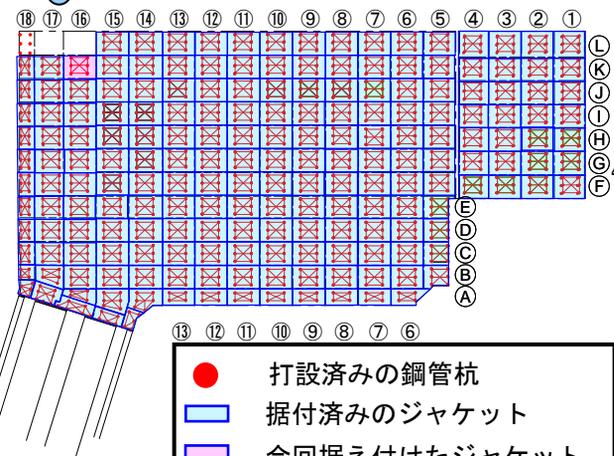




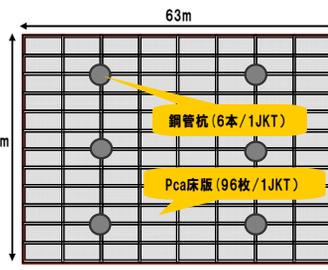
埋立部	棧橋部
接続部	連誘部
環境	その他
工種名: ジャケット据付工	

棧橋部のジャケット据付も残り3基(H22.1.12現在)となりました。1月下旬には全198基のジャケットの据付が完了予定です。今回は、194基目のK-16ジャケットの据付についてレポートします。

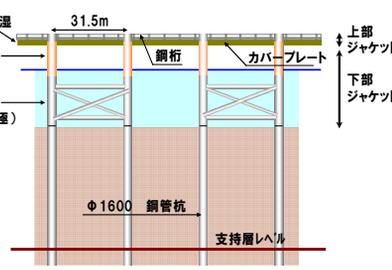


- 打設済みの鋼管杭
- ジャケット据付済みのジャケット
- 今回据え付けたジャケット

棧橋部ジャケット施工状況(H22.1.12現在)



標準ジャケット断面図



標準ジャケット平面図

棧橋部ジャケットは、格子状構造の鋼桁部分(上部ジャケット)と鋼管部材をトラス状に組み立てた構造物(下部ジャケット)からなります。寸法は、標準ジャケットで長さ63m、幅45m、高さ35mで、重量は最大1600tにもなります。K-16ジャケットの据付は、大型起重機船(3700t吊級)にて夜間作業で行われました。



据付完了後にジャケット間の距離の測定や、トランシット等を用いて高さや法線の測定を行い、据付精度を確認しています。

起重機船の羽田入域から、ジャケット据付完了まで、4時間ほどかかりました。また、現場は、非常に寒く、作業員の方の大変さが身にしみて分かりました。

ジャケット据付完了後は、ジャケット間の結合、コンクリート床版の据付、舗装等の工事が行われます。



近くで見るとものすごく迫力があります！